

自己評価・外部評価 評価表(別紙1)

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント	
				実施状況						
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない			
I 構造評価(Structure) [適切な事業運営]										
(1) 理念の明確化										
①	サービスの特徴を踏 まえた理念の明確化	1	当該サービスの特徴である「利用者 等の在宅生活の継続」と「心身の機 能の維持回復」を実現するため、事 業所独自の理念を掲げている	○				「一人一人の個性・人格を大切に にし共に生きる喜びを分かち合 います」という理念のもと事業を 行っている。	理念に沿った活動を期待してい る。	
(2) 適正な人材の育成										
①	専門技術の向上のた めの取り組み	2	管理者と職員は、当該サービスの 特徴および事業所の理念につい て、その内容を十分に認識している	○				理念については勤務前に確認 を行っている。事業所の特徴に 関してはケース会議などで定 期的に確認を行っている。		
		3	運営者は、専門技術(アセスメント、 随時対応時のオペレーターの判断 能力など)の向上のため、職員を育 成するための具体的な仕組みの構 築や、法人内外の研修を受ける機 会等を確保している	○				外部研修やweb研修を活用し ながら計画的に研修を行って いる。そこから伝達研修も行うこ とで全職員が研修に参加でき るようにしている。	引き続き職員の能力向上に励んで ほしい。	
		4	管理者は、サービス提供時の職員 の配置等を検討する際、職員の能 力が最大限に発揮され、能力開発 が促されるよう配慮している		○			シフトの時間の調整や訪問スケ ジュールの調整をし、特定の職 員に負担が偏らないよう努め た。		
②	介護職・看護職間の 相互理解を深めるた めの機会の確保	5	介護職・看護職の間で、利用者等 の特性・状況に係る相互の理解・認 識の共有のための機会が、十分に 確保されている	○				会議の場を設けるだけでなく ICT機器を活用しながら、適宜 情報共有を行っている。		
(3) 適切な組織体制の構築										
①	組織マネジメントの取 組み	6	利用者等の特性に応じた柔軟な サービスを提供するため、最適且つ 柔軟な人材配置(業務・シフトの工 夫)を行っている		○			人員体制が変化するなか、利 用者のニーズに沿えるようシフ トの時間の変更や職員の配置 をし、対応に努めている。	どこの業界も人員の確保が難しい と思っている。大変だとは思いますが、 引き続きお願いしたい。	

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント	
				実施状況						
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない			
②	介護・医療連携推進 会議で得られた意見 等の適切な反映	7	介護・医療連携推進会議を適時適切に開催すると共に、得られた要望、助言等(サービスの過少供給に対する指摘、改善策の提案等)を、サービスの提供等に適切に反映させている	○				新型コロナウイルス感染症予防の為に令和5年度においては書面にて報告し、意見をいただくという形を取っていた。 介護事故の対応等に関して専門職からの意見をいただいた。	地域住民の方が住み慣れた地域で暮らしを続けるための協力に感謝する。	
(4) 適切な情報提供・共有のための基盤整備										
①	利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備	8	利用者等の状況について、(個人情報管理に配慮した上で)必要に応じて関係者間で迅速に共有できるよう工夫されている	○				訪問介護員一人一人がしっかりと報連相や申し送りをできるよう指導を行い、書面やICT機器を活用しながら情報共有を行っていた。	ICTを活用できているのは良い取り組みである。	
(5) 安全管理の徹底										
①	職員の安全管理	9	サービス提供に係る職員の安全確保や災害時の緊急体制の構築等のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている(交通安全、夜間訪問時の防犯対策、災害時対応等)		○			緊急時の対応についてマニュアルを作成、訓練を定期的に行っていた。 BCPについても作成を行い、内容の確認を行った。	訓練は重要である為、しっかりと臨んでほしい。	
②	利用者等の個人情報の保護	10	事業所において、利用者等に係る個人情報の適切な取り扱いと保護についての具体的な工夫が講じられているとともに、管理者や職員において共有されている	○				個人情報の取り扱いについて研修を実施し、適切な取扱いに努めていた。	個人情報の取り扱いには十分に注意してほしい。	
Ⅱ 過程評価(Process)										
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供										
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成										
①	利用者等の24時間の暮らし全体に着眼した、介護・看護両面からのアセスメントの実施	11	利用者等の一日の生活リズムに着目した、アセスメントが提案されている	○				計画作成責任者を中心に職員全体で情報を確認しながらアセスメントを行っていた。	利用者それぞれのニーズに沿ったサービスを継続してほしい。	
		12	介護・看護の両面からのアセスメントが適切に実施され、両者の共有、つぎ合わせ等が行われている	○				計画作成責任者やオペレーターが中心にアセスメントを行い、かつ訪問看護ステーションも自事業所と情報のやり取りを行いながらアセスメントを行っていた。	情報の共有がしっかりと行われている為、良かった。	

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない		
②	利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	13	利用者の心身機能の維持回復に軸足を置いた計画の作成が志向されている	○				アセスメントを定期的実施することで利用者の現状に沿った計画の作成を行っていた。	
③	利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	14	重度化しても医療依存度を高め過ぎないように、利用者の今後の変化を予測し、先を見越した適切なリスク管理を実現するための、「未来志向型」の計画の作成が志向されている		○			ケアマネージャー、訪問看護ステーション等関係職種と情報や課題の共有を行い、介護度などが悪化しないよう適切な計画の作成に努めた。	介護度の推移を聞いて利用者で重度の方が増えてきているのが分かった。介護度の悪化に努めてもらいたい。
(2) 利用者等の状況変化への柔軟な対応と計画の見直し									
①	計画上のサービス提供日時に限定されない、必要に応じた柔軟な定期巡回・随時対応サービスの提供	15	計画上のサービス提供日時以外であっても、利用者等の状況に変化が生じた場合は、必要に応じて新たに定期巡回・随時対応サービスの提供日時を設定するなど、柔軟な運営に努めている	○				直近の情報をもとにオペレーターが判断し、訪問回数を増やしたり、時間をずらしたり、訪問内容を変更したりと柔軟に訪問を行っていた。	随時対応を行っていることはありがたい。引き続き、期待している。
②	継続したモニタリングを通じた利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映	16	サービス提供を通じた、継続的なモニタリングによる、利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映が行われている	○				継続的、計画的なモニタリングを実施、ケアマネとも共有しながら計画の作成を行った。	ケアマネと情報が共有され、計画も良くできている。
(3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供									
①	介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供	17	より効率的・効果的なサービス提供を実現するため、介護職、看護職のそれぞれの専門性を生かした役割分担が行われている	○				業務分掌を活用し、役割分担を行っていた。	
②	看護職によるサービス提供に関する指導、助言	18	看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、指導、助言が行われている		○			適宜、連携している訪問看護ステーションから助言、指導をもらっていた。感染症予防や看取りに対応についての勉強会も実施してもらったり、助言をいただいたりした。	感染予防に引き続き努めてほしい。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント	
				実施状況						
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない			
(4) 利用者等との情報及び意識の共有										
①	利用者等に対する当該サービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供	19	サービスの開始前に、利用者等に本サービスが「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスであり、訪問サービスは、その趣旨に沿って行われるアセスメントに基づき提供されることについて、十分な情報提供・説明が行われている	○				契約書、重要事項説明書を利用者やご家族と一緒に読み合わせ、説明を行った後利用開始を行っている。	引き続き、説明と同意を取ってほしい。	
②	利用者等との目標及び計画の共有と、適時適切な情報の提供	20	作成した計画の目標及びその内容について、利用者等に十分な説明を行うなど、共通の認識を得るための努力がされている	○				計画の作成、更新を行った際に利用者やご家族に説明、同意を得ている。		
		21	利用者の状況の変化や、それに伴うサービス提供の変化等について、家族等への適時・適切な報告・相談等が行われている	○				訪問時、電話連絡等にてご家族へ情報共有を行っている。		
2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント										
(1) 共同ケアマネジメントの実践										
①	利用者等の状況の変化についての、ケアマネジャーとの適切な情報共有及びケアプランへの積極的な提案	22	ケアマネジャーとの間で、利用者へのサービス提供状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に係る情報が共有され、サービスの提供日時等が共同で決められている	○				モニタリングの結果報告や状態の変化などケアマネジャーと適宜情報の共有を行い、サービスの変更等を行っている。	ケアマネと情報がしっかり共有され、サービスの変更をしているのが把握できた。引き続き期待したい。	
		23	計画の目標達成のために、必要に応じて、ケアプランへの積極的な提案（地域内のフォーマル・インフォーマルサービスの活用等を含む）が行われている	○				計画作成責任者より、ケアマネジャーやご家族へ現状で必要なサービス等を提案している。		
②	定期的なアセスメント結果や目標の達成状況等に関する、多職種への積極的な情報提供	24	サービス担当者会議等の場を通じて、利用者等の状況や計画目標の達成状況について、多職種への情報提供が行われている	○				サービス担当者会議や感染拡大時は照会にて、ケアマネ、デイ、訪問など関係事業所と情報の提供、共有を行っていた。	関係事業所間で連携に努めてほしい。	

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント	
				実施状況						
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない			
(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献										
①	利用者の在宅生活の継続に必要な、利用者等に対する包括的なサポートについて、多職種による検討	25	利用者の在宅生活の継続に必要な、包括的なサポート(保険外サービス、インフォーマルケア等の活用を含む)について、必要に応じて多職種による検討が行われている(※任意評価項目)	○				担当者会議などを通して関係事業所とともに検討を行っている。		
		26	病院・施設への入院・入所、及び病院・施設からの退院・退所の際などに、切れ目のない介護・看護サービスを提供するために、必要に応じて多職種による検討や情報の共有が行われている(※任意評価項目)	○				入院時や施設入居時などには利用状況、利用者の状態等について書面や口頭で情報共有を行い、逆に退院時利用開始される際には関係事業所と情報共有や必要なサービス内容の検討を行っている。		
②	多職種による効果的な役割分担及び連携に係る検討と、必要に応じた関係者等への積極的な提案	27	地域における利用者の在宅生活の継続に必要な、包括的なサポート体制を構築するため、多職種による効果的な役割分担や連携方策等について検討し、共有がされている(※任意評価項目)	○				サービス担当者会議などを通して、関係事業所間での役割分担について共有を行っている。		
3 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画										
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案										
①	介護・医療連携推進会議の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信	28	介護・医療連携推進会議の記録について、誰でも見ることのできるような方法での情報発信が、迅速に行われている	○				会議内容をファイリングし閲覧できるようにしている。		
		29	当該サービスの概要や効果等についての、地域における正しい理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている		○			居宅や病院の相談室へ営業活動を行っている。	地域に意味のあるサービスである為、引き続き広報活動を行ってほしい。	
(2) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画										
①	行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解	30	行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分に理解している		○			地域包括ケアシステムで担うべき役割を理解し、事業を行っている。	地域包括ケアシステムについて教えてほしい。	

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない		
②	サービス提供における、地域への展開	31	サービスの提供エリアについて、特定の建物等に限定せず、地域へ広く展開していくことが志向されている	○				北信西地域を中心に訪問可能なエリアについては要望があった際には可能な限り利用受け入れを行っている。	
②	安心して暮らせるまちづくりに向けた、積極的な課題提起、改善策の提案等	32	当該サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、介護・看護の観点から、まちづくりに係る問題認識を広い関係者間で共有し、必要に応じて具体的な課題提起、改善策の提案等(保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等)が行われている (※任意評価項目)	○				保険外サービスとして必要時通院同行(院内介助)を行っている。	
Ⅲ 結果評価(Outcome)									
①	サービス導入後の利用者の変化	33	サービスの導入により、利用者ごとの計画目標の達成が図られている	○				利用者の自立に向けた計画を作成し、それを元に支援を行っている。	
②	在宅生活の継続に対する安心感	34	サービスの導入により、利用者等において、在宅生活の継続に対する安心感が得られている	○				サービスを通し利用者が安心して生活できるよう努めている。	引き続き利用者が安心した生活を送れるよう努めてほしい。